



滿洲國物動會議 (鐵鋼石其ノ二)
概 要

(一) 日 時 昭和19年1月20日 於軍需省
(二) 出席者 陸、海軍、大東亞省、軍需省
鐵鋼統制會 滿洲國

(三) 內 容

(4) 北支、蒙疆關係ニ付大東亞省ヨリ下記説明アリ

摘 要	單位	生産目標	物動計上	現地製鐵	對日滿供給	18年度見込
竜家堡	55	700	700		滿 700	350
烟筒山	45	800	669	669	—	700
蒙疆計		1,500	1,369	669	700	1,050
利 國	60	120	100	50	日 50	75
金嶺鎮	55	500	464	264	滿 200	237
山 西	42	120 120	120 178	138	—	24
武 安	50	250	100 90	90	—	—
司家營	50	100	100	100	—	55
北支計		1,080 1,100	872 892	642	250	391
大 冶	58	1,500	1,050	50	日1,000	1,300
垂 中	50	2,050	1,398	198	日1,200	1,140
中支計		3,550	2,448	248	2,200	2,440
石 錄	65	1,620	900	—	日 900	1,128
田 獨	63	580	500	—	日 500	1,046
南支計		2,200	1,400	—	1,400	2,174

20-2





支那總計	8,403	6,159	1,559	4,550	6,055
------	-------	-------	-------	-------	-------

(1) 現地製鐵使用ハ一應上記ノ通りナルモ目下技術委員會ニテ檢討中ノ由

(2) 金嶺鎮對滿向 200 千屯ノ供給ニ付テハ未タ決定セサルモノナリ

(3) 對日供給鑛石ノ基幹計畫ニ比シ相違セルハ利國出鑛計畫當初 15 万屯全量對日向ナリシモ現地調査ノ結果物動計上 100 千屯トシタル爲對日向ハ 10 万屯減下ナリタルニ止マリ 其他中南支分ニハ變更ナシ

(4) 日本側平爐用鑛石逼迫ニ鑑ミ利國鑛石ノ現地使用量削減方提案アリ

本提案ニ對シ大東亞省ハ青島高爐ノ失敗ノ原因ハ主トシテ原料關係即コークスハ傳田野燒ヲ使用シタル爲灰分ハ 25 ~ 30 % ニ及ヒ又金嶺鎮鑛石ハ粉ニ成リ易ク冷風吹込ミタルモノニ付 19 年度出銑 100 千屯確保ノタメニハ優良鑛石ヲ裝入スルノ必要アルタメナリ尙利國鑛石ノ使用ハ青島高爐ノ鑛鐵工場ノ設備熱風爐ノ設備完成迄ノ措置ニ付承認方主張シ又出鑛目標 12 万屯ノ物動計上ヲヒルカヘシ 10 万

20-2





屯ヲ主張ス之ニ對シ内地側モ強硬ニテ結論ニ
至ラス富塚少佐ヨリ平爐用鑛石ハ滿俺ト共ニ
別途審議ノコトトナリ支那關係ハ之ニテ打切
リトナス

(ロ) 滿洲國關係

(1) 結 論

昨日空氣ノ通滿洲ノ生産目標ハ内地側ノ苦心
ニ比シ未タ決戰的氣魄ニ乏シキト視ラレ金嶺
鎮ヲ除キ茂山利國南山ノ期待ハ相當困難ノ情
勢トナリ、國內鑛石ノ生産增強ノ再検討トナ
リ結論ヲ得ルニ至ラス慘憺タルモノナリ

(2) 主要質疑事項次ノ通り

(イ) 内地平爐用鑛石不足ニ鑑ミ大栗子對日向ヲ
3万屯ヲ更ニ2万屯ニ引上ケラレ度シ
過去ニ於テハ露天掘ヲ行ツテ居タル爲高品
位鑛石モ或ル程度出タカ其後鑛床ノ變化及
坑道掘ニテノ9年度ハ増産見込ミ居リ且最
近頓ニ品位低下ノ現状ナレハ3万屯モ困難
トシオレリ尙滿洲トシテハ全量使ヒ度ト思
テキル旨説明

(ロ) 國內増産ニヨリ中北支期待ヲ最少限ニ出來

20-2

50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60



又ヤ滿洲自体トシテモ研究シオルモ主要鑛
山タル弓長嶺ハ最近著敷ク坑道深ク人的物
質的關係モ影響シ採掘目標確保ニ困難ヲ來シ
オレリ又大栗子モ既ニ述ヘタル通りノ事情
ニテ早急期待困難ナリ從テ滿洲ニ於ケル増
産對策トシテハ貧鑛處理ノ完成ニ最モ期待
セルニ拘ラス選鑛工場ハ對日發註機器ノ關
係テ完成漸延ノ爲巴ムナク國外期待余議ナ
クナリタルモノナリ

(イ) 大孤山 40 万吨設備ノ早急完成ニ特別措置
ヲ講スル様依頼ス

(ロ) 滿洲ノ鑛石使用量ハ余リニ過大ナラスヤ
昨日同様鑛石使用量大ナリトシ 500 ~ 600
千屯ノ貯鑛計畫ト視ラレ之ニ依リ國外期待
鑛石ノ減少方要望ニ對シ數字的説明ヲナサ
ス考慮ヲ約ス
本空氣ニ對シ茂山 200 千屯ノ辭退方統制會
ヨリ申出アリ之ニ對シ選鑛能力ヨリ絶對必
要ナル旨主張次テ富塚少佐ヨリ下記ニ依リ
研究ヲ要求アリ

(1) 南山ノ部ヲ竜塚堡ノ増産ニヨリカバ-

20-2

50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60



ス

(2)右不足分ハ鑛石使用計畫ニ付余裕アル
様子ニ付之ヨリ檢出ノコト

(3)更ニ不足分ハ國內増産ニヨリ賄フコト
竜家堡ノ増産ニ對シテハ日本側ヨリモ積極
的協力スヘキコトト話アリタルモ現實ノ問
題トシテ困難ナリ

ト説明シ2~3項ニ付考慮ヲ約ス

(4)本溪湖低燐鐵増産ニ伴フ鑛石對策ノ件

本溪湖低燐鐵ヲ万吨増産分丈ケ普通鐵減少
スルトセハ鑛石對策トシテ利國金嶺鎮ノ要
求ハ過大ナルモノト之カ理由ニ付説明要求
アリタルモ瀋側要求ハ低燐鐵増産ニ便乗シ
テ要求シタルモノニ付數字的説明ナサス別
途調査ノ上回答ノコトトス

(5)日本側事情説明シ瀋洲國ノ協力量要望

内地事情ハ基幹計畫船腹量3,600千屯ニ對
シ其后1,000千屯減シ2,600千屯トナリ更
ニ1,000千屯程度減少見込ニ對シ出銜目標
518万吨確保(統師部要求600万吨)ノタ
メニハ國內朝鮮鑛石ノ大增産ノ余議ナキ狀

20-2

50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60



勢ニアリ正ニ血ヲ吐ク思ヒナリ依テ滿洲國
ニ於テモ充分認識アリテ更ニ協力方要望ア
リ石田參事官ヨリ明朝迄裕余ヲ依頼ス

20-2

50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60